

R 7 天草市立天草小学校グランドデザイン

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 熊本県児童生徒教育指導の指針
- 熊本県教育振興基本計画
- 県教育庁各課取組の方向
- 天草教育事務所取組の重点
- 天草市教育委員会グランドデザイン

学校教育目標
学習したことを生活にいかす力の育成
～人を喜ばせ、人に喜ばれる児童～

校 訓
感謝 努力 夢実現

- 〈地域・児童の実態〉
- 県西部、天草下島の西端に位置する。
 - 少子高齢化が進んでいる。
 - 保護者の学校・教育に対する関心は高く、協力的である。
 - 児童は素直である。自主性・積極性をさらに伸ばしたい。

めざす子供の姿

感謝：感謝の気持ちを持ち、笑顔でがんばる子ども
努力：努力を重ね、一步一步前進する子ども
夢実現：なりたい自分に向かっていく子ども

「思考力・判断力・表現力」「人間性」
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」
「学びに向かう力・人間性等」

児童会スローガン

みんなで協力「一致団結」天草小
～笑顔・努力・ありがとう～

育てたい資質・能力

- 経験を基に、思いを的確に表現する力
- よさを認め合い、思いやる力
- 進んで学習や生活に取り組む力

合言葉

「一致団結」

めざす学校の姿

- 地域とともにある学校
- あいさつが響き合う学校
- 安全・安心で信頼される学校

めざす教師の姿

- 豊かな人権感覚をもつ教職員
- 使命感と向上心をもつ教職員
- 「チーム天小」として連携する教職員
- 保護者・地域住民とつながる教職員

本年度学校経営の基本方針

- ①確かな学力の定着
天小スタイルの継承とICTを活用して、学力の定着を図る。
「個別最適な学び」と「協働的な学び」のスタイルを確立する。
- ②天草体験学習のさらなる充実
地域素材をいかして、持続可能な単元計画を整備する。
ふるさとをよさを知り、ふるさとが好きと言える児童を育てる。
- ③一人一人の居場所づくり
「笑顔の登校、満足の下校」ができる学校や学級づくりを目指す。
児童の個性を理解して、特別支援教育の充実を図る。
- ④関係諸機関との連携の充実
学級間、教師間、学校間（小中）、地域や行政との連携を図り、地域全体で児童を育てるという風土を培う。

小中連携

- 学びの10の約束の系統的实践
- 「学習リーダー」が機能する学習スタイル
- 基本的生活習慣の確立
～早寝、早起き、朝ご飯～

本年度の具体的実践事項

家 庭

【天草町保小中連携カリキュラム
「はつらつ天草っ子」】

- ①学習
 - (1)家庭学習
時間の確保
 - (2)自主学習
賞賛と励まし
 - (3)諸検査等の結果
親子で内容を共有
- ②生活
 - (1)あいさつ
 - (2)天草っ子チャレンジデー
ノーテレビ・ノーゲーム
持ち物の整理整頓
 - (3)家庭読書の奨励
 - (4)スマホ・ゲームの
ルールづくり
 - (5)う歯治療
 - (6)早寝・早起き・朝ご飯
 - (7)夜10時までの就寝

学 校

学力づくり

- 基礎的基本的な知識・技能の習得
- 授業の工夫改善
- 諸検査の分析及び活用
- 特別支援教育の充実

心づくり

- ふるさとを愛する心の育成
- 人権教育の充実
- 「特別の教科 道徳」の推進
- 読書活動の推進

体づくり

- 健康教育の推進
- 安全教育の推進
(交通、生活、防災等危機管理の徹底)
- 体育活動の充実
- 食育の推進(安全・安心な給食)

教育環境づくり

- 整えられた校内環境づくり
- 保小中連携の充実
- 地域とともにある学校づくり

地 域

- ①あいさつの推奨
- ②見守り隊の活動
- ③地域学習・読み
聞かせ・学校
応援団への協力

基盤として

「自己決定・自己存在感・共感的人間関係」に基づく授業づくり、学級づくり、豊かな体験活動、安心・安全な風土、信頼される学校づくり